

昭和 47 年 2 月 1 日

横芝町の人口と世帯

<12月31日 現在>

人 口	12,557 人
男	6,015 人
女	6,542 人
世 帯 数	2,996



広報

横芝

発行所

山武郡横芝町横芝636番地
横芝町役場
電話 04798-2-1111(代)
郵便番号 289-17

快晴に恵まれた

町消防出初式

新春恒例の町消防出初式のもとに団員三百余名が参加し、一月八日横中校庭において挙行されました。雲一つなく澄みきった青空、揚台に向けて整列、厳粛なう



ちに国旗の掲揚が行なわれ、内はいよいよ緊張の度をまじらせた。県知事代理をはじめ関係各機関、団体の来賓多数臨席のもとに式はとどこおりなく進行してゆきました。

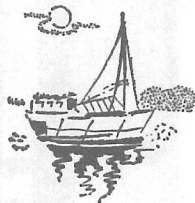
やがて、人員、服装、機械器具の通常点検が行なわれ、続いて小型動力ポンプ、四輪自動車ポンプの操作が行なわれ、各分団とも日頃の訓練の成果を余すところなく披露してくれました。また、昨年七月に山武中学校で行なわれた、郡の操作大会に出場した本部分

団第一部(上塚)と十一分団第一部(木戸倉)による模範操作の特別演技が披露され、更に消防署職員の、救急車と消防ポンプ車による模範操作が披露されました。その後小隊教練、分列行進等が行なわれ、有時に際して万全の備えのあることが遺憾なく披れさせられました。続いて彰状の授与、来賓の祝辞などがあって式を閉じました。

受章者芳名は次のとおり

- 千葉県知事功労章 五木田 誠
- 千葉県知事精勤章 越川 武彦
- 第六分団長 鈴木 泰治
- 第十四分団長 若梅 健司
- 第五分団長 勝又 和徳
- 第八分団長 加瀬 利定
- 第十一分団長 早川 利雄
- 第二分団長 早川 利雄
- 第四分団長 早川 利雄
- 第七分団長 早川 利雄
- 千葉県消防協会長功労章 川島 幸
- 第三分団長 川島 幸

第一分団長	大木 治男
千葉県消防協会長精勤章	本部分団一部 伊藤 秀一
第十分団長	萩原 敏
第四分団一部	川島 徳夫
第七分団一部	越川 泰助
第十四分団一部	勝田 総光
第一分団一部	小川 友一
第六分団三部	秋山 嵩雄
第十一分団一部	佐久間正雄
山武支庁長表彰	伊藤 進一
第九分団長	富 睦
第十二分団長	池田 貞司
第一分団二部	若梅 守
第五分団二部	神保 誠
第十一分団一部	伊藤 彰三
第三分団二部	鈴木 平
第九分団二部	波辺 操
第十二分団二部	消防協会山武支部長功労章
第六分団一部	斉藤 実
本部分団三部	太田 康雄
本部分団一部	海保 恵一
第十分団一部	古谷 武雄
消防協会山武支部長精勤章	早川 孝
第二分団一部	秋葉昭之助
第一分団一部	秋葉 精一
第十分団一部	伊庭 勝美
第十四分団三部	佐瀬 栄
本部分団一部	勝又 英明
第八分団一部	五木田 実
第十三分団三部	町長表彰(無火災表彰)
第十分団一部	十年 第六分団一部
町長表彰(無火災表彰)	十五年 第十一分団一部
町長感謝状(施設協力者)	栗山 鈴木 貞治
栗山 新治	椎名 新治
鳥喰沼 古市嘉四郎	伊東 幸
新島新田 伊東 幸	町消防団長表彰(優良分団)
第三分団一部	第十分団一部



- 第十一分団一部 町消防団長特別功労章
- 本部分団一部 伊藤 秀一
- 第四分団一部 川島 仁一
- 第六分団三部 高壁 和
- 第八分団一部 内田 清治
- 第十二分団一部 秋元 清治
- 本部分団一部 宇都木信吾
- 第五分団一部 加瀬 勇生
- 第七分団一部 向後 隆敏
- 第十一分団一部 普沢 晃光
- 第十四分団一部 伊藤 勝
- 町消防団長感謝状 (内助の功)
- 第十三分団長夫人 五木田菊江
- 消防活動協力者
- 東町 宇井定夫
- 本町 高橋金秋
- 東町 藤城頭義
- 町消防団長功労章
- 磯野豊一
- ほか二十七名